

1年生学年だよ

メリハリ つながり チャレンジ

令和6(2024)年2月2日 第60号
吹田市立第二中学校第一学年

季節の変わり目

1月が終わり2月に突入しました。明日は立春。暦の上では春が訪れることとなります。カウントダウンカレンダーを使った残りの登校日数も31日というところまで来ました。

寒い冬を越え、暖かくなり始めたころ、みんなは2年生へと進級することとなります。今のクラスで過ごす時間も少しずつ終わりが近づいているということ。そんな時期だからこそ、改めて4月から大切にしてきた「メリハリ・つながり・チャレンジ」が出来ているかを考えてみましょう。

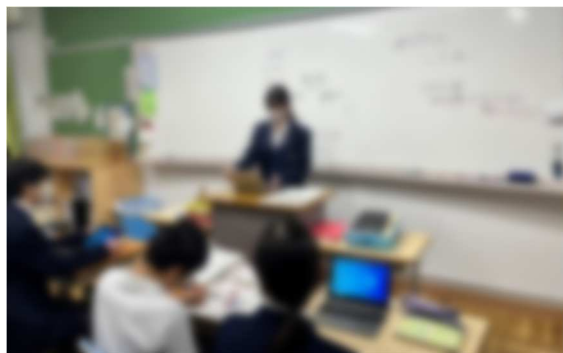
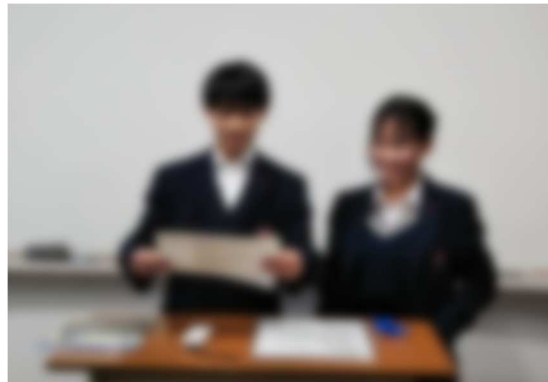
授業や休み時間、学校生活の様々な機会に、この3つを今一度意識して、暖かい春を迎えてほしいと思います。

それから、暦の上では季節が変わると言っても、まだまだ寒い日は続きます。インフルエンザも流行してきています。体調管理にも気を配ってね。



保健委員の取り組み

保健委員は学校内の安全や、体調管理に気を配りながら、よりよい学校生活を生み出せるよう前向きに活動してくれています。アンケートの案内をクラスで伝えてくれました。委員会活動もそれぞれ頑張っているところを紹介していきますね！



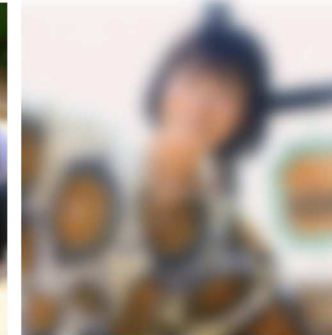
さんシチズン・オブ・ザ・イヤー受賞！

市民社会に感動を与えた人々を選び、毎年その行動や活動などを讃えます。

日本人および日本に在住する外国人の中から、市民社会に感動を与えた、あるいは市民社会の発展や幸せ・魅力作りに貢献した市民（個人もしくは団体）を1年単位で選び、顕彰する制度。市民主役の時代といわれる中において、広い視野から市民を顕彰する賞がほとんど見られなかったことから、社名に“CITIZEN（市民）”を掲げるシチズン時計が1990年に創設したものです。略称「シチズン賞」。

1学期に ZOOM を使って、みんなに講演をしてくださった さん。ルワンダでの活動のことや夢を見ることについて、世界を変えるということはまず自分も手の届くところに変化をつくるなど心に残るお話をたくさんしてくださいましたよね。

そんな さんがこの度、「シチズン・オブ・ザ・イヤー」を受賞されました。受賞理由は79期生のみんなにも話してくれた、ルワンダでの生活支援、雇用促進などの取り組みや人材育成、何より さん自身のバイタリティや生き方が評価されたからだということです。



受賞を受けて、 さんはこんなコメントを残されています。

受賞のことを社員に伝えると、歌って踊って大喜びしました。ほぼ全員が最貧困家庭のお母さんたち。子どもを背負い仕事を探し歩き回っていた過去を思えば、この賞は奇跡です。関わってくれたすべての方々へ感謝の気持ちでいっぱいです。これからも手の届く世界で、今できる最大限の行動を続けたいと思います。

みんなも さんから学んだことを活かして、「最大限の行動」を続けていこう。

来週の予定

| 日付 | 行事 | 持ち物や連絡 |
|--------|--------------|---------------------------------------|
| 2/5(月) | 通常時間割(50分×5) | |
| 2/6(火) | 特別時間割(50分×6) | |
| 2/7(水) | 通常時間割(50分×6) | |
| 2/8(木) | 特別時間割(50分×6) | 福祉FW 1、2限：2組 3、4限：1組 5、6限：3組 |
| 2/9(金) | 通常時間割(50分×6) | |